

三島地区コミュニティだより

第

創刊日昭和63年 6月20日

発行日 令和 2年 3月20日

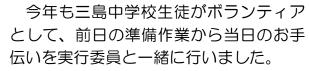
発行責任者 三島地区コミュニティ広報部

第6回 どんど焼き 開催

1月26日(日)

冬晴れの中、三島神社境内で恒例となった「どんど焼き」が行われました。







11時半からの「がらまき」



祭司の祝詞



採火された火をトーチに



地域住民助け合い事業研修会(福祉部)

~ 知的障がい擬似体験会 ~ 2月19日(水)



8月の福祉部研修会の経験をもとに、知的 障がい啓発隊「カラフルBOX」の皆さんを

講師に迎え、地域住民 助け合いに関わる関 係者(要支援者サポー 夕や民生委員など)へ の体験会を開催しま した。体験後、参加者



はグループに分かれて意見を出し合いました。

第35回 凧揚げ大会

1月18日(土)

まずまずの凧揚げ日和のなか、100名を超える保護者と子ども達が集まり、 三島小PTA・三子連主催の恒例の凧揚げ大会が三島体育センターグラウンドで

お気に入りの凧を 揚げて、楽しい1日 を過ごしました。

行われました。



ボランティア事業研修会(福祉部) 2月25日(火)

福祉部所属のボランティアのみなさん37人が参加しました。今年は、民話語りのボ



ランティア活動を行っている「民話 の会にしなすの」の皆さんをお招き し、九尾の狐の物語から始まり、思わ ず笑ってしまう話やしんみりとする 話、ためになる話などを聞かせてい ただきました。

ボランティアの皆様には、今後と も末永くご活躍をいただきますよう、 どうぞよろしくお願いいたします。



🎇 ~ 田んぼの学校 (しめ飾り作り)~ 🧲



12月15日(日)三島公民館で年末恒例のしめ飾り作りが行われました。田んぼの



学校の生徒さんのご家族24名と関係 者の方々が、田んぼの学校の方々から

指導を受けながら しめ飾り作りを体 験しました。 個性豊かな 22 個



のしめ飾りが出来 上がりました。

◆ コミュニティ「そば打ち講習会」 12月15日(日)

三島公民館で年末恒例のそば打ち 体験が行われました。14名の方々が、 富山さん、花井さんのご指導を受けな がらそば打ちを体験しました。2時間 弱でおいしそうなそばが出来上がり ました。





「古布」寄付のお願い



福祉部では、ボランテア事業として介護福祉施設で「ウ エス作り」を行っています。



「ウエス」は、ご家庭で不要になったタオルやシーツ、 Tシャツなど吸水性の良い綿製が好まれます。現在このよ うな古着が不足しており、随時受け付けをしていますの で、皆さまのご協力をよろしくお願いします。

~ 三島公民館に直接お持ちください ~



◇◇ 「文房具」寄付のお願い ◇◇

現在、まだまだ使用できる文房具(定規、鉛筆、シャープペン、消しゴム 下敷きなど)を集めています。集まった物品は那須塩原市社会福祉協議会を 通じて、市在住の支援を必要としている子どもたちに届けています。

三島公民館に直接お持ちください。皆さまのご協力をよろしくお願いします。





~地域だより~



▼ 東赤田:恒例の新年会





公民館で新年交流会を開催しました。杵を握る人と「こねどり」をする人とそれを見守る人で餅つきが始まると幼少時代の餅つきの思い出話で会話が盛りあがりました。子どもたちは餅をパックに詰めるお手伝いをし、その後の「ガラ撒き」では、お菓子や



日用品などをたくさん拾い、活気に満ちた新年のスタートとなりました。

▼ <u>東三島</u> : まゆ玉づくり

1月26日(日)

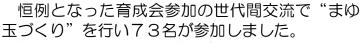


育成会親子60人が参加し、"まゆ玉づくり"を行いました。

自治会3役と文化部福祉部員の方々が 子供たちと協力し準備したミズ木に五色 のまゆ玉を飾り付け、2時間ほどで完成 し、皆でおいしく食べた後、子供たちは、 それぞれに親子で三島神社に行きまし た。厄除けのガラまきの後にとり小屋に 点火、弱火になった火でまゆ玉を焼き、 無病息災を祈願し無事に終えました。

▼南郷屋: まゆ玉づくり(世代間交流) 1月11日(土)





色とりどりのまゆ玉(団子)を作り、子供たち



と一緒にミズ木に飾り付け、見事に完成しました。この後、当自治会の後藤悟さんより、 "まゆ玉"と"どんど焼き"のいわれについてのお話を聞き、おいしいお雑煮を食べて 有意義な小正月を過ごしました。

編集後記 今年の冬は、暖かく過ごしやすいと思っていましたが、新型コロナウイルスが流行り出してしまいました。チャーター機、豪華客船等まるで映画の世界を思わせる様相です。

最も不安なことは、正体が未だにはっきりとしていないこと、有効な薬が無いことではないでしょうか。そして、いたずらに怖がらず新聞、テレビ等の情報を正しく理解し行動することが大切なことであり、一刻も早い終息を祈るばかりです。冬も、もうすぐ終わり、春を思わせるこの頃ですが、感染に留意し、この難局を乗り切りましょう。(S.H)